



ASA 鶴沼西部・片瀬 地域密着コラボ企画

本校の自慢である「たいいく表現まつり」

湘南学園小学校 校長 河本洋子

秋の爽やかな陽気の中で、今年も全校児童が日本の踊り「民舞」を10月9日（祝・月）に、大グラウンドを大舞台として踊りきりました。日本の各地に伝わる踊りを、先輩から後輩へと継承し、家族や地域へと披露する踊りは、今や本校の魅力であり、自慢となっています。

心に響け！

～先人の想い、生き様、民衆の願い～

2年生を担任した時、ポンポン体操を踊ってみました。その時、その場限りの踊りでは、子どもの心に響かないことを知り、「子どもの心に響く踊り」を求めるようになりました。

そのような時に、花笠音頭・ソーラン節・御神楽などの民舞を知ったのです。「大地に足を踏みしめての股わり姿勢」が基本で、衝撃さえ覚えましたが、いつの間にか恥ずかしさを脱

し、のめり込んでいる自分（私）がそこにいました。

「これだ！」と、子どもたちの顔を重ねてイメージした時に、求めていたものが見つかりました。モダン・ジャズ・エアロビ系の踊りとは身体の使い方がまるで違って、民舞は足の裏全体で芯を感じ、安定感があります。

遅く生きて抜いてきた日本人の生き様と民衆の願い・心を何よりも強く感じ、次の世代を生き抜く子どもたちに伝えたいと、本校では「表現Ⅱ

民舞」を継承しています。

民舞を通して

日本を知り、語れる子に

特に小学校段階までに、優れた既成作品を身につけることで学ばべきものがたくさんあります。日本の子どもたちに、日本の伝統文化Ⅱ既成作品Ⅱ民舞を学ばせること。それは、子どもたちを「日本の文化の担い手にする」ことにもなるのです。

踊り込むことで楽しさがわかり、踊る喜びを味わうのです。

全身を使って、思いっきり動くために、型Ⅱ技術の習得も必要です。



入学・転入学に関するお問い合わせはお電話ください。電話番号 0466-23-6611

【湘南学園小学校】藤沢市鶴沼松が岡4丁目1番32号 <http://www.shogak.ac.jp/>